

学校評価結果

令和元年2学期に、本校教員による学校自己評価アンケートを実施しました。また、その結果をもとに、本校の学校関係者にご協力をいただき、関係者評価を実施しました。結果を簡単にまとめて報告します。

本文、表中に記載されている数値は質問項目に対する回答の平均値であり、本校教員の考えの概ねの傾向を示しています。質問項目ごとに「あてはまる度合い」について1〜5ポイントで評定をつけ、項目間で比較できるようにしています。

1. 自己評価

○近年における本校の生徒のあり方の変化（表1）

「生徒は自主的に学習に取り組むようになってきている」という項目において、やや低い評定となっています。自由記述においても、「学習面で受け身になっている生徒が増えていく。塾にいけば安心し、主体的に塾、授業を利用するという態度が少なくなっている」「失敗を恐れ、さまざまなことに積極的に挑戦したり、幅広く教養を身につけようとする姿勢もかつてほど感じられない」「クラブ活動や学校行事、生徒会活動に関わる生徒が減少している」といった自主性、主体性の低下傾向についての指摘がいくらか見られました。

また、「下の学年のうちから大学受験ありきでものごとを見るようになっていく」「受験や塾の話ばかりに気を取られ、将来の話をしていく事を見かけることが減った」など、受験を意識しすぎているのではないかと意見もありました。中学から入学すれば、卒業までの6年間で幅広い学習や体験をすることが可能であり、塾や大学受験ばかりに気を取られる必要はないはずですが、近年ではそのような傾向が目立つようです。

○教員の取り組み方の変化について（表2）

授業方法や授業実施の環境の変化については、高い評価がつかれました。「授業でデジタル教科書が使用できるようになった。プロジェクトを用いて大画面で授業を進めることができ、視聴覚の面で格段の進歩だ」「黒板と併用できる」「ICT

機器といったツールの活用方法だけでなく、学術面も含めた幅広い教育方法の変遷にも目を向けるようにしている」「主体的な学びの機会を増やすように気をつけている」など、積極的に変化を取り入れていく様子がわかります。一方で、「担当教科特有の事情もあるが、黒板と板書の授業でも本校生徒は十分に理解を深めることができ、融通も利くため、教材や設備を改める必要を感じない」「昔より説明などが丁寧になってきていると思う」「時代が変わっても、本当に大事なことは変化しない。したがって、授業での取り組みも基本的には変化していない」といった、大きな変化を求めているという意見も見られました。

しかし概ねの傾向でいえば、積極的に新しい手法やツールを取り入れようという姿勢が見られます。

表1. 本校の生徒のあり方の変化について

1. 生徒の授業への取り組み方はよりよくなってきている。	2.9
2. 生徒は自主的に学習に取り組むようになってきている。	2.7

表2. 自身の取り組みやあり方の変化について

授業の方法は変化してきている。	3.5
教材や設備など、授業を行う際に利用する環境は変化している。	3.4

○本校全体の変化について

本項目については、自由記述のみで意見を募りました。「若い教師が増え活気が出てきた」「授業の中で、生徒同士で議論させたり発表させたりする機会が徐々に増えている」「気になるのはスマホの使用について。中1、中2の生徒のスマホ依存が目に見える」など、世間や時代の変化を反映する記述がありました。

続いて、そういった変化への対応については、以下のような意見が出ました。

「時代に流されず、生徒にとって本当に必要なものを大切にするとこの姿勢が貫かれている」「校是とこれまで築き上げられてきた教員・生徒の自由を尊重するあり方

から、本当に何が必要かを再考すべき」など、現状を肯定する意見と、再考を求める意見がありました。

個別の事象に振り回されすぎず、大切なものを見極める必要がありそうです。

2. 関係者評価

○近年における「生徒のあり方の変化」の評価、「授業など、教員自身の取り組みやあり方の変化」の評価について

「SNS等のインターネットに関する問題に関しては、先生方の負担を考えると、教職員、生徒、保護者への指導、助言、相談を専門家に委ねることに賛同する」「勉強一筋でファッションにはあまり気をつかわない様な生徒も減っている。パランス感覚は良くなっている。その反面、個性がなくなってきた」「PCを使った授業展開、YouTube、DVD等ある程度こなせたら良いのではないか」など、幅広い意見をいただきました。

今後の評価活動については、「先生方の考えがよくわかり、共有できる物として大変良い活動であると思います。是非今後も調査を続けていただき、先生方の中で活用してより良い灘校になりますよう、よろしく願っています」「質問3・1、3・2は、現場の先生方が日々感じている問題を、ジャンルを限定せず広く吸い上げるといふ点、また、それぞれの問題に対しての対応にも言及されている点で評価したい。職員全員がアンケートの集計結果を意識し、職場の環境を整えていかれることが、ひいては生徒の利益に資すると思う」といった意見をいただきました。

3. 終わりに

今回も、忌憚なき意見が集まり、有益な自己評価、関係者評価を実施することができました。取り組むべき課題を抱えつつも、今後の学校運営へと生かしていきたいと考えます。